

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>  
神奈川県衛生研究所

## 第 175 号

平成 19 年 10 月 9 日発行  
病原体検出は平成 19 年 5 月分

### 話題

## 今シーズンの腸管出血性大腸菌感染症の動向 ( 1 )

### 1 患者発生動向

今シーズン(4月~8月)の腸管出血性大腸菌感染症の患者発生報告は、神奈川県では124例でした。前年の同シーズンに比べ22件増加しています(2006年の同シーズンは102例)。横浜市及び川崎市から多く報告があり、全体の件数が多くなっています。図1の23

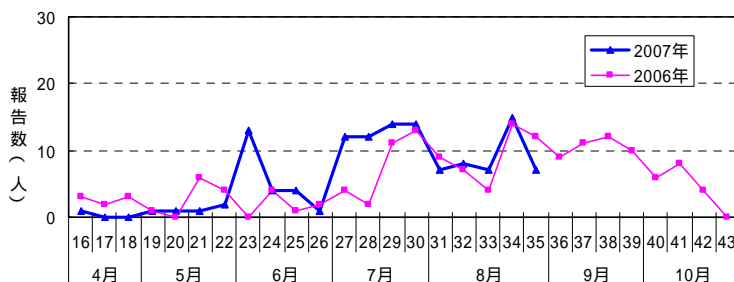


図1 週別患者報告数

週のピークは他県の集団発生の影響によるもので、今シーズンは昨年よりも早い6月初めから増加しましたが、30週からは前年とほぼ同様の報告数となっています。

### 2 年次別発生状況

2004年以降3年間の全国及び神奈川県の年間報告数では、全国及び神奈川県でも2005年に減少しましたが、2006年には増加しています。また、各年1~35週までの累計報告数は、全国では2005年に減少し2年続けて増加しました。神奈川県では2005年に大幅に増加しましたが2006年には減少し、2007年は2005年を上回りました。

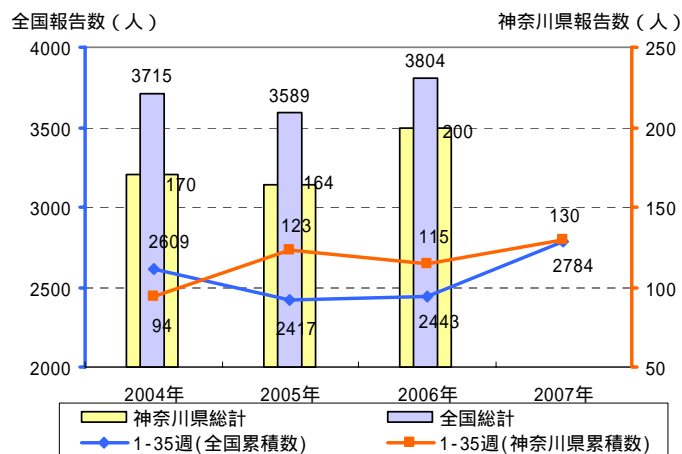


図2 腸管出血性大腸菌感染症報告数年次別比較

### 3 患者発生報告における腸管出血性大腸菌検出状況

神奈川県域(横浜市、川崎市を除く)では1~35週の患者報告数は38件でした。内1件はHUSによる報告であり、各血清型及び毒素型の検出状況は表1のとおりです。O157による腸管出血性大腸菌感染症は75.7%でした。

表1 血清型別の毒素型検出状況(神奈川県域)

血清型	VT1	VT2	VT1&2	検出数
O111			1	1
O157		11	17	28
O165		1		1
O26	2			2
型別記載なし		2	3	5

(NESIDデータより)

# 病原体検出

表 1 病原体検出状況(保健所等別) 平成 19 年 5 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査											病原体定点 1			合計					
	平塚保健所	鎌倉保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	県域外発生関連調査	横須賀市保健所	相模原市保健所	藤沢市保健所	計		小児科	インフルエンザ	眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)																			
	その他の大腸菌 <sup>2</sup>														1					1
	サルモネラ 07群			1							1			2						2
	カンピロバクター・ジェジュニ	1		4						1	2			8	1					9
	カンピロバクター・ジエジュニ/コリ											1		1						1
	黄色ブドウ球菌										2			2						2
	ウエルシュ菌							14					2	16						16
	A群溶血レンサ球菌														3					3
計	1		5				14		1	5	3	29	5						34	
ウイルス・リケッチア	コクサッキー A16													1						1
	エンテロ 71													5						5
	麻疹													1						1
	アデノ 4															1				1
	ロタ		4										4					1		5
	ノロ									2	3		5	1						6
	サポ													4						4
	アストロ													1						1
計		4							2	3		9	13			1	1		24	
合計	1	4	5				14		3	8	3	38	18			1	1		58	

1：病原体定点の検出数は横須賀市、相模原市、藤沢市も含めた定点の合計を計上した。( )は海外渡航者数。

2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

## <検出状況>

- 5月の病原体検出数は合計 58 件、細菌 34 件、ウイルス 24 件であった。
- 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では細菌が 29 件、ウイルスが 9 件検出された。  
4月に比べて検出が細菌は32件から29件と横ばいであり、ウイルスは31件から9件と減少した。
- 病原体定点等の医療機関からの検査では、細菌が 5 件、ウイルスが 15 件検出された。細菌は小児科定点からの検出であり、ウイルスは小児科、眼科及び基幹定点からの検出であった。
- 保健所管内別の検出状況は表 1 のとおりである。

表 2 病原細菌検出状況(臨床診断別) 平成 19 年 5 月

	感 染 症										食 中 毒	有 症 苦 情	(依 頼 保 菌 者 検 査 検 査 1 査 )	合 計
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	百 日 咳	淋 菌 感 染 症	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎				
検 査 検 体 数						3	8				52	33	2,176	2,272
腸管出血性大腸菌(EHEC)														
その他の大腸菌 <sup>2</sup>							1							1
サルモネラ 07群											1		1	2
カンピロバクター・ジェジュニ							1				7	1		9
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ											1			1
黄色ブドウ球菌											2			2
ウエルシュ菌											16			16
A群溶血レンサ球菌						3								3
計						3	1				27	1	1	34

1：依頼検査(保菌者検査)は、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く。  
海外渡航者数は(内数)として記載

2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

<検出状況>

- ・ カンピロバクター・ジェジュニが食中毒等事例から 8 件、感染性胃腸炎患者から 1 件検出された。
- ・ ウエルシュ菌は、16 件すべて厚木保健所管内の食中毒事例からの検出であった。
- ・ サルモネラ 07 群が 2 件検出され、1 件は無症状病原体保有者であり、他の 1 件はカンピロバクター食中毒事例から同時検出されたものであった。
- ・ 黄色ブドウ球菌が食中毒事例から 2 件検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別) 平成19年5月

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	5月	平成19年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	6	1	3	6	7	1	16	1	49						
毒素原性大腸菌(ETEC)				5	2	2			9				1		1
その他の大腸菌		2		1	1	1	1	11	28	1	4	1	2	1	9
サルモネラ O4群			1				1		2		1				1
サルモネラ O7群		1	1						6					2	
サルモネラ O8群		1							2						
サルモネラ O9群						4			5	1					1
腸炎ビブリオ				3					3						
ブレジオモナス・シゲロイデス										1					1
カンピロバクター・ジェジュニ	1	8	2	8	1	6	2		38	1	4	1	15	9	30
カンピロバクター・コリ		1							1				1		1
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ													1	1	1
黄色ブドウ球菌	1			4				7	12	4			13	2	17
ウエルシュ菌							2	11	93	1	7			16	8
セレウス菌								1	1						
赤痢菌 ( <i>S. flexneri</i> )											1				1
赤痢菌 ( <i>S. sonnei</i> )				1	1	1		2	5						
A群溶血レンサ球菌	6	14	2					1	39		1	4		3	8
コリネバクテリウム・ウルセランス			1						1						
淋菌			3	2	1				6						
マイコプラズマ・ニューモニエ						1			1						
レジオネラ・ニューモフィラ		2	2	9	7	3	2	1	27						
合計	14	30	15	39	20	19	24	35	328	9	18	6	33	34	66

: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

< 検出状況 >

- ・ カンピロバクター・ジェジュニが、4月に引き続き9件検出された。

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断名別) 平成 19 年 5 月

	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	を麻しん除(成人麻しん)	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	成人麻しん	その他	食中毒様	合計
取り扱い検査件数							26	9		1	2			1	1	1	11	54	106
コクサッキー A16								1											1
エンテロ 71								5											5
麻しん																1			1
アデノ 4													1						1
ロタ							5												5
ノロ							1										3	2	6
サポ							4												4
アストロ							1												1
計							11	6						1		1	3	2	24

< 検出状況 >

- ・ ロタウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生があり、C群ロタウイルスが4件検出された
- ・ 小児科定点及び基幹定点の感染性胃腸炎患者から、ノロウイルスが1件、サポウイルスが4件、アストロウイルスが1件、ロタウイルスが1件検出された。すべて乳幼児からの検出であった。
- ・ 手足口病患者9件のうち6件の咽頭拭い液からコクサッキーウイルスA16型1件、エンテロウイルス71型が5件検出されたが、感染症発生動向調査による5月の患者報告数はまだ増加はみられていない。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別) 平成19年5月

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	5月	平成19年累計
インフルエンザ AH1									45				1		1
インフルエンザ AH3									173	10	44	25	1		80
インフルエンザ B	2	1							3	25	11	18	2		56
パラインフルエンザ 1									2						
パラインフルエンザ 2							1		1						
R S								1	2						
コクサッキー A4	4	15	5	1					25						
コクサッキー A5			1			2	1		4						
コクサッキー A10			1	1					2						
コクサッキー A16	1	3	7	8	6	5	2	1	33			1	1	1	3
コクサッキー B3					1				1						
コクサッキー B5			1	1		2	1		5						
エコー 18		1		3	4				8						
エコー 30			1						1						
エンテロ 71			1		1		1	1	4	1				5	6
ムンプス	1				3				7						
麻しん														1	1
アデノ 1									1						
アデノ 2									1		1		1		2
アデノ 3	3	1	4		1				18	1					1
アデノ 4			1						2		1			1	2
アデノ 37									1			1			1
アデノ 40/41		2							2						
アデノ(型未決定)							1		2	1					1
単純ヘルペス 1	1			1		1	2	1	8	3	1				4
ロ タ								1	33	1	2	7	4	5	19
小型球形		1							1						
ノ ロ	4					10	248	333	737	86	60	37	35	6	224
サ ボ	1							4	5	2	4	1		4	11
アストロ														1	1
デ ン グ					1				1						
未 同 定			1	1	1				3						
リエンチア ツガムシ						1	2	1	4						
合 計	17	24	23	16	18	21	259	343	1135	130	124	90	45	24	413

< 検出状況 >

- ・ 麻しんウイルスが成人麻しん患者から検出された。
- ・ ロタウイルスが12月から毎月検出されている。
- ・ サボウイルスは4月は検出されなかったが、12月から検出されている。

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況 平成19年5月

(神奈川県衛生研究所検出)

検査検体数	病原細菌検出数及び検査検体数													
	食 品						環 境							
	5月			1-5月累計			5月				1-5月累計			
	食中毒等 収去検査	その他		食中毒等 収去検査	その他		海水 <sup>1</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他	海水 <sup>1</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	73	45	5	209	175	26	29	1	38		29	17	208	14
サルモネラ 04群					2	2								
サルモネラ 07群					4	3								
カンピロバクター・ジェジュニ						6								
カンピロバクター・コリ						1								
レジオネラ・ニューモフィラ 6群											1			
ウエルシュ菌	4			4										
計	4			4	6	12						1		

1: 河川水を含む。

